



ラグビー蹴球部

■ 1918年(大正7年)公認

部員数

174名



部長
恩藏直人
商学学術院
教授

今シーズンを振り返ると、本当に残念の一言です。昨シーズンに続き、大学選手権の決勝戦で明治大学に敗れてしまい、準優勝に終わってしまいました。対抗戦においても、決勝戦で明治大学に敗れていただけに、雪辱を果たし日本一を目指しましたが実現できませんでした。

部員たちは「ワンショット」のスローガンのもとに一つにまとまり、大きな目標に向かって進んでくれました。部員一人ひとりは、練習や試合を通じて多くのことを学び、成長してくれたと思っています。大学選手権での優勝を逃したという残念な気持ち、必ずや後輩たちが受け継ぎ、来シーズン以降につなげてくれるものと確信しています。



監督(男子)
大田尾 竜彦

2025年度は野中健吾主将を中心に、「One Shot」のスローガンを掲げ、グラウンド内は当然のことだが、グラウンド外での意識を高めることによる成長にも目を向け、グラウンド内外で一日一日の成長が感じられる非常に結束力のあるチームだった。

最終結果は2年連続大学選手権準優勝という非常に悔しいものだったが、それでも2年連続で決勝まで進み、16年ぶりに関東大学J選手権で優勝することが出来た。

それらを導いてくれた今年の4年生には感謝しかない。来年は優勝するために、あと一つ足りないピースを追求し、今年の4年生の思いも乗せて優勝したい。



主将
野中 健吾
スポーツ科学部
東海大学付属大坂仰星

1年副広ありがとうございました。昨年度の準優勝から、とにかく日本一に向けてチーム全員で努力してきました。この4年間で3回の決勝進出という経験はかけがえのないものだと感じています。日本一・荒ぶるは叶わなかったのですが、このチームで主将を務められたことを誇りに思います。早稲田で過ごした4年間は悔しいはないですし、胸を張ってこの先の人生を歩んでいこうと思います。今後とも早稲田ラグビー蹴球部の応援よろしくお願ひします。



主務
谷口 宗太郎
人間科学部
修猷館

2025年度のチームは、昨年度決勝での敗戦の失意の中から始動しました。掲げたスローガンは「One Shot」。「勝ちきる姿勢」全部員、観客の団結「一つ一つの拘り」を軸に、紆余曲折を経ながらシーズン駆け抜けられました。関東大学対抗戦では3位に比んだものの、大学選手権では準々決勝の天理大学戦、準決勝の帝京大学戦と勝ち進み、チームは着実な成長を示しました。決勝では明治大学に敗れ、「荒ぶる」は叶いませんでした。しかし4年生を中心として観客と一体となったOne Shotコール、グラウンド内外のスタンダードの向上など、多くの価値を残すことができました。全員で「One Shot」続けたこの1年を心から誇りに思います。



ヘッドコーチ
横尾 千里

2026太陽生命ウィメンズセブンズシリーズへの昇格を目標にしておりますが、昇格の懸かった最後の試合を勝ち切ることができず、僅かに目標には届きませんでした。スコアとしては文字通り「僅か」ではありましたが、そこには大きな壁があったと感じています。様々な制限の中で出来ることにフォーカスし、前向きに取り組んできた過程を結果に繋げられなかったことは私の責任です。それでも、今年度のスローガンであった「繋」を最後まで体現してくれた選手のことは、心から誇りに思います。また、今年度は初めて女子部から卒業生が誕生します。歴史を初めて女子部から卒業生が誕生する。歴史を少しずつ積み上げていけるよう、今後もチーム全員で努力していきます。



女子部主将
千北 佳英
スポーツ科学部
田園調布双葉

本年度も女子部への温かい応援を賜りましてありがとうございました。昨年度に引き続き、太陽生命ウィメンズセブンズシリーズへの昇格を目指して活動を行ってまいりました。劇的な勝利の瞬間を経験し、確実にチームが成長していることを実感する場面があった一方で、目標としていた結果には届かず、越えなければいけない壁が目の前に立ちただけだと痛感しました。今年、手の届かなかった勝利に向けて、努力を惜しむことなく、来年に向けて前進して欲しいと思います。ラグビー蹴球部の一員として過ごすことができた日々感謝しながら、次の世代にバトンを繋ぎます。



女子部主務
國谷 蘭
政治経済学部
桐蔭学園

今年は「繋」というスローガンのもと、太陽生命ウィメンズセブンズシリーズへの昇格に向けて駆け抜けた1年でした。辛い練習を全員で乗り越え、歴史的な勝利を経験し、チームとしての成長を感じるとともに、目標にあと一歩届かず、勝つことの難しさを経験したシーズンでした。一人一人が自分がやるべきことを遂行し、チームのために行動した1年間だったと思います。

今年達成することができなかった昇格は、後輩たちが来年必ず達成してくれると信じています。多くの人に愛され、次の世代に繋げていける部活になれるよう、これからも日々努力していきます。今後とも女子部へのあたたかいご声援をよろしくお願い致します。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇第14回 関東大学春季交流大会 Aグループ (4月20日~6月22日)
3位

- ▷大東文化大学(○57-26)
- ▷東洋大学(○52-19)
- ▷東海大学(○73-29)
- ▷明治大学(●12-45)
- ▷帝京大学(○38-35)

◇インフォーマートプレゼンツ「北海道ラグビーの日」2025招待試合(早稲田大学 対 慶應義塾大学) (5月5日)
優勝

- ▷慶應義塾大学(○33-14)

◇関東大学ラグビー対抗戦 Aグループ (9月13日~12月7日)
3位

- ▷日本体育大学(○59-7)
- ▷立教大学(○78-0)
- ▷筑波大学(○39-13)
- ▷青山学院大学(○59-12)
- ▷帝京大学(●20-25)
- ▷慶應義塾大学(○49-21)
- ▷明治大学(●19-25)

◇全国大学ラグビーフットボール選手権大会 (12月14日~1月11日)
準優勝

- ▷関東学院大学(○85-7)
- ▷天理大学(○26-21)
- ▷帝京大学(○31-21)
- ▷明治大学(●10-22)

(女子)

◇太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2025
チャレンジャートーナメント (5月5日~6日)
3位

- ▷予選: 日本経済大学女子ラグビー部 AMATERUS(●10-24)
- ▷予選: RKU グレース(●10-14)
- ▷予選: BRAVE LOUVE (●10-24)
- ▷1回戦: RKU グレース(○24-19)
- ▷準々決勝: 弘前サクラオーバルズ(○24-17)
- ▷準決勝: 日本経済大学女子ラグビー部 AMATERUS(●0-31)
- ▷3位決定戦: アザレア・セブン(○19-14)

◇Women's College Sevens 2025
第12回大学女子7人制ラグビーフットボール大会 (6月7日~8日)
4位

- ▷予選: RKU グレース(○31-5)
- ▷予選: 立正大学ラグビー部女子(●5-48)
- ▷横浜武蔵野アルテミ・スターズ(○36-0)
- ▷準々決勝: アザレア・セブン、春日井シティバルキリーズ、湘南ベルマーレBell7、富士サンダーバースRFC(○22-14)
- ▷準決勝: 立正大学ラグビー部女子(●5-45)
- ▷3位決定戦: 追手門学院大学女子ラグビー部 VENUS (●5-26)

◇太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2025
グランドファイナル札幌大会 (8月17日)
入替戦敗退

- ▷横浜武蔵野アルテミ・スターズ(●7-14)
- ▷横浜武蔵野アルテミ・スターズ(●0-10)

